



ディレクトリ検索のダイヤル規則設定

ディレクトリ検索規則は、発信者 ID 番号をディレクトリ内で検索可能な番号に変換するものです。個々の規則では、先頭部分のいくつかの数字、および番号の長さに基づいて、変換対象となる番号を指定します。たとえば、10 桁の電話番号から、エリアコードと 2 つのプレフィックス数字を自動的に削除するディレクトリ検索規則を作成して、4085551212 を 51212 にすることができます。Cisco Unified Communications Manager Attendant Console で、アテンダントの短縮ダイヤルエントリまたはディレクトリに、この番号と一致するユーザが見つかったら、そのユーザの名前が [コールの詳細] ウィンドウに表示されます。

ここでは、次の内容について説明します。

- [ディレクトリ検索のダイヤル規則の検索 \(P.33-2\)](#)
- [ディレクトリ検索のダイヤル規則の設定 \(P.33-3\)](#)
- [ディレクトリ検索のダイヤル規則の設定値 \(P.33-4\)](#)
- [ディレクトリ検索のダイヤル規則の削除 \(P.33-5\)](#)
- [関連項目 \(P.33-6\)](#)

ディレクトリ検索のダイヤル規則の検索

ディレクトリ検索のダイヤル規則を見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、ディレクトリ検索ダイヤル規則の検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ダイヤルの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [ダイヤルルール] > [ディレクトリ検索ダイヤルルール] の順に選択します。

[ディレクトリ検索ダイヤルルールの検索と一覧表示 (Directory Lookup Dial Rule Find and List)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、**ステップ 3** に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウンリストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウンリストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

すべてのレコード、または一致したレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウンリストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.33-6 の「関連項目」を参照してください。

ディレクトリ検索のダイヤル規則の設定

ディレクトリ検索のダイヤル規則を追加および更新する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [ダイヤルルール] > [ディレクトリ検索ダイヤルルール] の順に選択します。

[ディレクトリ検索ダイヤルルールの検索と一覧表示 (Directory Lookup Dial Rule Find and List)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 新しいディレクトリ検索のダイヤル規則を追加するには、[新規追加] をクリックします。
- 既存のディレクトリ検索のダイヤル規則を編集するには、対象となるダイヤル規則を表示します (P.33-2 の「ディレクトリ検索のダイヤル規則の検索」を参照)。

[ディレクトリ検索ダイヤルルールの設定 (Directory Lookup Dial Rule Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 33-1 を参照)。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

追加情報

P.33-6 の「関連項目」を参照してください。

ディレクトリ検索のダイヤル規則の設定値

表 33-1 では、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウ内で使用可能な設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.33-6 の「関連項目」を参照してください。

表 33-1 ディレクトリ検索のダイヤル規則の設定値

フィールド	説明
[名前 (Name)]	ディレクトリ検索のダイヤル規則の名前を入力します。この名前には、最長 20 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。
[説明 (Description)]	ディレクトリ検索のダイヤル規則の説明を [説明 (Description)] フィールドに入力します。または、ブランクのままにします。
[開始番号 (Number Begins With)]	このディレクトリ検索のダイヤル規則を適用する電話番号の先頭部分の数字を入力します。たとえば、972 と入力した場合、このダイヤル規則は 9725551212 などの電話番号に適用されます。 有効な値は、数字 (0 ~ 9)、プラス記号 (+)、アスタリスク (*)、およびポンド記号 (#) です。
[桁数 (Number of Digits)]	このディレクトリ検索のダイヤル規則を適用する電話番号の長さを入力します。たとえば、7 と入力した場合、このダイヤル規則は 8675309 などの電話番号に適用されます。
[削除する合計桁数 (Total Digits to be Removed)]	Cisco Unified Communications Manager で、このダイヤル規則を適用する電話番号から削除する桁数を入力します。たとえば、3 と入力した場合、Cisco Unified Communications Manager は 4085556666 などの電話番号から 408 を削除します。 このフィールドで有効となる値の範囲は、0 ~ 100 です。削除する桁数の合計は、このディレクトリ検索のダイヤル規則を適用する電話番号の桁数を超えることはできません。
[プレフィックスパターン (Prefix With Pattern)]	このディレクトリ検索のダイヤル規則を適用する電話番号にプリペンドするパターンを入力します。有効な値は、数字 (0 ~ 9)、プラス記号 (+)、アスタリスク (*)、およびポンド記号 (#) です。

ディレクトリ検索のダイヤル規則の削除

ディレクトリ検索のダイヤル規則を削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [ダイヤルルール] > [ディレクトリ検索ダイヤルルール] の順に選択します。

[ディレクトリ検索ダイヤルルールの検索と一覧表示 (Directory Lookup Dial Rule Find and List)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 特定のディレクトリ検索のダイヤル規則を見つけるには、検索条件を入力し、[検索] をクリックします。

検索条件と一致する電話機のリストが表示されます。

ステップ 3 次のアクションのいずれかを実行します。

- 削除するディレクトリ検索のダイヤル規則の横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] をクリックする。
- 検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] をクリックして、ウィンドウ内のディレクトリ検索のダイヤル規則をすべて削除する。
- 削除するディレクトリ検索のダイヤル規則の名前をクリックして表示し、[削除] をクリックする。

確認ダイアログが表示されます。

ステップ 4 ディレクトリ検索のダイヤル規則を削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。

追加情報

P.33-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [ディレクトリ検索のダイヤル規則の検索 \(P.33-2\)](#)
- [ディレクトリ検索のダイヤル規則の設定 \(P.33-3\)](#)
- [ディレクトリ検索のダイヤル規則の設定値 \(P.33-4\)](#)
- [ディレクトリ検索のダイヤル規則の削除 \(P.33-5\)](#)

アプリケーションのダイヤル規則

- 『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「ダイヤル規則の概要」
- [アプリケーションのダイヤル規則設定 \(P.32-1\)](#)
- [ダイヤル規則の設定 \(P.32-4\)](#)

Cisco Unified Communications Manager Attendant Console

- 『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』の「Cisco Unified Communications Manager Attendant Console の設定チェックリスト」
- 『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』の「Cisco Unified Communications Manager Attendant Console」